

「カルジオリピン IgM」 検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

さてこの度、標記項目につきまして検査内容を変更させていただきますので、取り急ぎご案内いたします。

誠に勝手ではございますが、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

謹白

記

対象項目/変更内容

● 1177 カルジオリピン IgM

変更内容	新	旧
検査項目名	抗カルジオリピンIgM抗体	カルジオリピン IgM
検査方法	ELISA	同左
基準値 (単位)	20.8 以下 (U/mL)	8 未満 (U/mL)
報告範囲 (単位)	2.5 未満、2.5～79.9、 80.0 以上(U/mL)	5 以下、6～79、 80 以上(U/mL)
桁数	有効3桁、整数2桁、小数1桁	有効2桁、整数2桁、小数0桁
検査実施料	232点* (「D014」自己抗体検査「27」抗カルジオリピン 抗体の点数を準用して算定)	未収載
判断料	144点(免疫学的検査判断料)	未収載

* 検査実施料に関わる留意事項

- ・抗カルジオリピン β ₂グリコプロテイン I 複合体抗体を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
- ・抗カルジオリピン IgG 抗体、抗カルジオリピン IgM 抗体、抗 β ₂グリコプロテイン I IgG 抗体及び抗 β ₂グリコプロテイン I IgM 抗体の検査を併せて実施した場合は、主たるもの3つに限り算定する。

変更期日

● 令和4年3月31日(木)受付日分より

●カルジオリピン IgM

抗リン脂質抗体症候群(APS)の診断補助に有用です。

抗リン脂質抗体症候群 (Anti-Phospholipid Syndrome: APS) は、抗リン脂質抗体と関連する自己免疫血栓症あるいは妊娠合併症をきたす疾患です。APS の臨床上の問題点は、この疾患を定義する抗リン脂質抗体の多様性から、どの抗リン脂質抗体を陽性として判断するか統一されていないことでした。

国際血栓止血学会が定める APS 分類基準 (札幌クライテリア・シドニー改変) では、抗リン脂質抗体の検査対象として、ループスアンチコアグラントに加え、抗カルジオリピン抗体および抗 β_2 グリコプロテイン I 抗体の IgG 型と IgM 型が含まれました。これらの検査対象は自己免疫血栓症と妊娠合併症の発症に良く相関することが知られ、基準に含まれる全ての抗体の検査実施が推奨されています。

本項目は、国際血栓止血学会が定める分類基準に準じた検査であり、APS の診断補助や治療効果、再発の予知などに有用です。

▼疾患との関連

抗リン脂質抗体症候群(APS)
全身性エリテマトーデス(SLE)

▼関連する主な検査項目

抗カルジオリピン β_2 グリコプロテイン I 複合体抗体
ループスアンチコアグラント

●参考文献

小川 昌起, 他: 医学と薬学 78(4):447~459, 2021. (検査方法参考文献)

阿部 靖矢, 他: 血栓止血誌 29(3):294~306, 2018. (臨床的意義参考文献)